

歓迎の辞

会長 屋嘉比 良夫君



祝辞

スポンサークラブ・パストガバナー 江崎 柳節君



1969年4月28日 小牧RCからキーマン10名、チャーターメンバー34人43名という所帯で総理何時されました。特別代表は 向博(小牧RC)さんが努められました。

一年前には小牧RCが設立され、その準備期間中に春日井にロータリーが無いことはおかしい。小牧の設立と同時進行で春日井RCが創立されたという快挙が記録に残っている。

このクラブは5年後には名古屋空港RCを拡大され、その後名古屋城北RC設立となった。

名古屋クラブから数えて犬山、小牧、春日井、名古屋空港、名古屋城北と6世代の一系関係にある親子関係は世界でも珍しいこと。地域柄の連携相互理解の良さを物語る。

このクラブはお付き合いでも国際的で、韓国南釜山RC、台湾東湊(とうそう)RCと姉妹提携、カナダ・ケローナRCと友好関係。

その他元来シニアリーダーに職業奉仕に造詣の深い方が多く、Rの根幹理念である職業奉仕の啓蒙にこの地区をリードされた。

春日丘高校にIAC提唱、春日井市の固有の文化を育成。

国際ロータリーは昨年30年ぶりに日本から田中作次名会長を輩出

世界で200の国家、地域、122万人の会員を擁し、世界の人びとの真のニーズに合った奉仕を展開している。本年から始まったFuture Visionは我が国が文字道理世界の先進国として世界に変革を求め始めております。

年間1億2千万ドルの年次基金を元に各地のクラブの奉仕を助け、28年続けて参りました子供の最も忌まわしい感染症ポリオを99%以上の絶滅間際に追い込んでいます。125ヶ国遭った間全国も残り3ヶ国、2018年には3年間の観察期間においても2018年には「END GAME」にする事をG20諸国、国連WHO、UNICEF、CDCを中心に世界に誓約いたしております。これは団体ノーベル平和賞をあるかに凌駕する伊号だと賞讃されております。

ロータリーの究極の目的は地域と世界の各地域を通じて世界理解と世界平和を実現することです。今、国連でも宗教界、でもなし得ないイスラエルとパレスティナの平和に関するプロジェクトがロータリーによって現実のものにしようという努力がなされています。ロータリー平和フェローの働きです。私も先月現地に現地で我が国が輩出したフェローの活躍を検証して参りました。ロータリーは時代の変革に応じた素晴らしい変化を始めております。

いま2760地区は日本一の地区。4900名です。我々は個々の地域のロータリークラブが核となって世直しを続けています。それはこの地区の極めつきの各界のリーダーの集まりで毎週例会を開いて研鑽を積んでいます。

この春日井ロータリークラブに地域の関係の皆様のご協力と御参加をお願い致しましてお祝いのご挨拶と致します。

R I 第2769地区 東尾張分区

ガバナー補佐 丹羽 司一君



春日井ロータリークラブの皆さん、創立から45周年を迎えられまして、誠にありがとうございます。

私の所属する愛知長久手ロータリークラブは20

02年に産声をあげ、ようやく10年を越したばかりですから、45年の長きにわたってロータリーの活動に尽力されてきた春日井ロータリークラブの皆さんには敬服するばかりです。

45年前と言うと1969年。この年はアポロ11号が人類初の月面着陸に成功した年なんです。また、東名高速道路が全線開通したのもこの年でした。中京テレビ、FM愛知が開局したのもこの年だそうです。

こうした過去の出来事を振り返ってみると、その年月の長さを改めて実感いたします。

春日井市は、人口が30万超と、東尾張分区の中では最多です。愛知県内でも名古屋、豊田、岡崎、豊橋、一宮に次ぐ規模の大きな街です。多くの人々が集うこの地において、活動を継続され、ロータリーの精神を継承されていくことには、大きな実りが期待されるところです。

歴史を重ねられた春日井ロータリークラブの、今後の益々のご発展をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

乾杯

第2760地区ガバナーノミニー 加藤 陽一君



41代会長～44代会長へ感謝状

41代会長 山田 治 君
 42代会長 社本 太郎君
 43代会長 風岡 保広君
 44代会長 名畑 豊 君



チャーターメンバー記念品贈呈

磯野 俊雄 君
 早川 八郎 君
 浅井 瀧治 君

最年長メンバー記念品贈呈



春日井 RC45 周年事業紹介 幹事 加藤久仁明君



春日井 RC の 45 周年の記念事業を報告します。この 10 年対外的な事業は、ほとんど行っていませんでした。この間に入会したメンバーから、地域世界に対する春日井 RC のステータスの事業は、何かと問われましたが、当時は何も有りませんでした。昨年より市民向け、国際的な事業を行い始めました。45 周年事業と共に報告いたします。

① 昨年より、『春日井市福祉のつどい』に於いて、春日井市が全国シェア日本一の実生サボテン鉢植え大会を行い、市民に配布する事業を行っています。今年は、45 周年事業と言う事